

5月の農作業管理

周防大島統括本部

柑橘

「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう

※注意※

Mダイファー水和剤は令和8年10月末で登録が切れるため

11月以降の使用が出来ません! 在庫管理には注意しましょう。

作業1 開花期の防除の徹底

裏年の樹は、開花期の訪花昆虫防除が重要なため、必ず行いましょう。品種および園地ごとの開花状況を確認しながら適期に防除を行いましょう。

時期	病害虫	防除薬剤
開花2～3分咲 (5月上・中旬頃)	訪花昆虫	モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍
満開～落弁期 (5月中・下旬頃)	灰色カビ病	パレード 15フロアブル 3,000倍
5月下旬 (発生園又は発生が心配される園)	かいよう病 展着剤	IC ボルドー66D 80倍 アビオンE 1,000倍 または クプロシールド 2,000倍
6月上旬 (灰色かび病の多い園)	灰色カビ病 チャノホコリダニ ミカンサビダニ	フロンサイド SC 2,000倍

※ レモンは薬害を生じるので、フロンサイド SC は使用しない。

※ 樹勢回復又は緑化促進のために開花期防除時に尿素 500倍とリンクエース 2,000倍で混用散布しましょう。

※ クプロシールドの使用には、クレフノンを200倍加用するのが望ましいです。(薬害軽減のため)

作業2 夏肥の施用

夏肥は、連年安定生産(隔年結果是正)には欠かせない肥料です。また新梢の充実や、果実の肥大促進のためにも重要な肥料なので、必ず施用しましょう。(10a当り)

品種系統	施用時期	柑橘1号	柑橘5号	ソイルキーパー
極早生	5月上旬～ 5月中旬	5袋	7袋	8袋
早生		6袋	8袋	9袋
中生、普通 完熟早生	5月下旬～ 6月上旬	6袋	8袋	9袋
高糖系 (青島、大津4号他)		8袋	10袋	12袋
中晩柑 (せとみ、伊予柑他)		6袋	8袋	9袋

作業3苗木の管理

～追肥の施用～

	施用時期	肥料銘柄	施用量
1年生	5月上旬	柑橘有機配合1号	60～70g/1樹当たり
2年生			70～90g/1樹当たり

- 支柱立てをしていない園は早急に実施しましょう。
- 1ヶ所から出ている芽を1本に芽かきする。
- 春芽が8～10枚伸びた時点で新梢6～8枚残して摘心する。

～苗木の防除について～

- ミカンハモグリガ（エカキムシ）の防除…①エクシレルSE5,000倍又は②モスピラン顆粒水和剤4,000倍又は③ダントツ水溶剤4,000倍を使用し、散布を行って下さい。

※①～③は混用散布はせずに、2週間間隔で緑化完了まで2～3回防除して下さい。

落葉果樹

梅の管理

- 黒星病 灰色かび病防除…時期…5月上旬
防除薬剤…ストロビドライフフロアブル2000倍
- アブラムシ…時期…5月中旬 防除薬剤…ダントツ水溶剤4000倍
- 摘果…5～10cmに1果程度残して摘果しましょう

キウイフルーツの管理

●花ぐされ病対策

薬剤防除 時期…5月上旬
防除薬剤…アグレプト水和剤1,000倍+ネオエステリン（展着剤）5,000倍
環状剥皮 時期…5月上旬
5mm幅で地際から60～150cmの主幹部に施しましょう

●人工受粉

花粉の重量に対して石松子で4～10倍にして授粉しましょう

●摘蕾 … 側花や奇形花、余分な蕾を除去しましょう

●新梢の芽かきと誘引

余分な芽や遅れ花を除去し、1㎡に新梢を12～15本としましょう
又、日が良く当たるように誘引をしましょう

●摘果 … 傷果や奇形果を摘果し、1㎡当たり30果程度としましょう

●軟腐病防除

1回目（結実後）… トップジンM水和剤1,000倍+ネオエステリン（展着剤）5,000倍
2回目（6月下旬）… アリエッティ水和剤600倍+ネオエステリン（展着剤）5,000倍

●クワシロカイガラムシ防除

5月中旬… モスピラン顆粒水溶剤2,000倍+ネオエステリン（展着剤）5,000倍

水稲

※一発肥を施肥する場合は、元肥は必要ありません

品種	基肥一発10a当たり	箱防除	田植期
コシヒカリ	新・米育ち082 28～33kg/10a	稲大将箱粒剤 50g/箱	5月上旬～中旬
ひとめぼれ		スクラム箱粒剤 50g/箱	
		フルスロトル箱粒剤 50g/箱	5月中旬～下旬

- 植えつけ本数が多いと軟弱に生育し、病害虫の発生が多くなります。植えつけ本数は3～4本にしましょう。 営農相談フリーダイヤル 0120-082-722